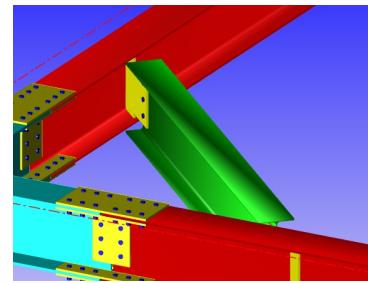


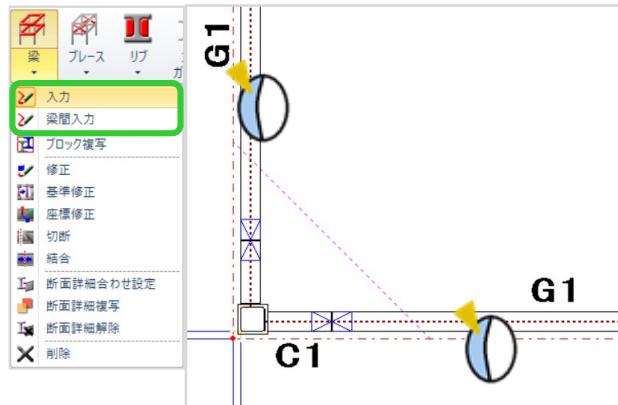
火打ち梁を入力したい！

補助線を引いて入力できます。

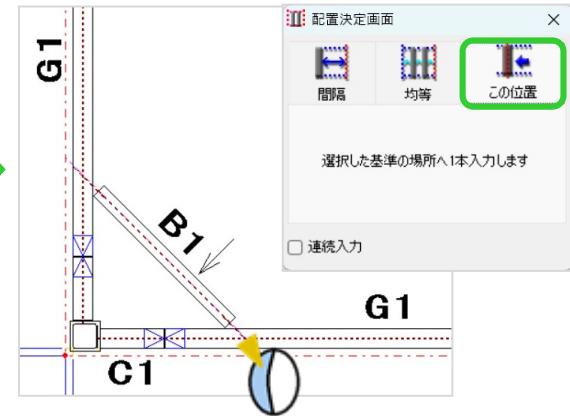
火打ち梁を配置する位置に基準となる補助線を引きます。



【梁】 - 【入力】または【梁間入力】を選択して
火打ち梁が取付く梁をそれぞれクリックします。



【この位置】を選択して補助線をクリックします。



斜めに取付く梁の端部形状はパラメーターで設定されています。

＜一括で設定したい場合＞

【ファイル】 - 【パラメーター】 - データ作成-37.柱、梁作成関連-43.梁フランジ端部 で設定します。

項目名称	設定値
43 梁フランジ端部	1 - 直角
44 梁ウェブ端部(柱接続)	1 - 直角
45 梁ウェブ端部(梁接続)	1 - 直角
46 間柱フランジ端部	1 - 直角
47 間柱ウェブ端部	1 - 直角
48 片持ち梁先端	3 - 上側直角

1.直角 **2.斜め** **3.角面取り**

＜個別に設定したい場合＞

【スタイル】 - 【端部】 - 【スタイル設定】で設定します。



パラメーターを変更した場合、
勾配つきの片持ち梁など、ほかの斜めに取付く
梁端部の形状も変更されます。
端部形状を別にしたい場合は、端部スタイルを
使用して個別に設定してください。

納めの向きが左右で異なった
場合は【梁】 - 【修正】または
【継手】 - 【納め修正】より
変更してください。